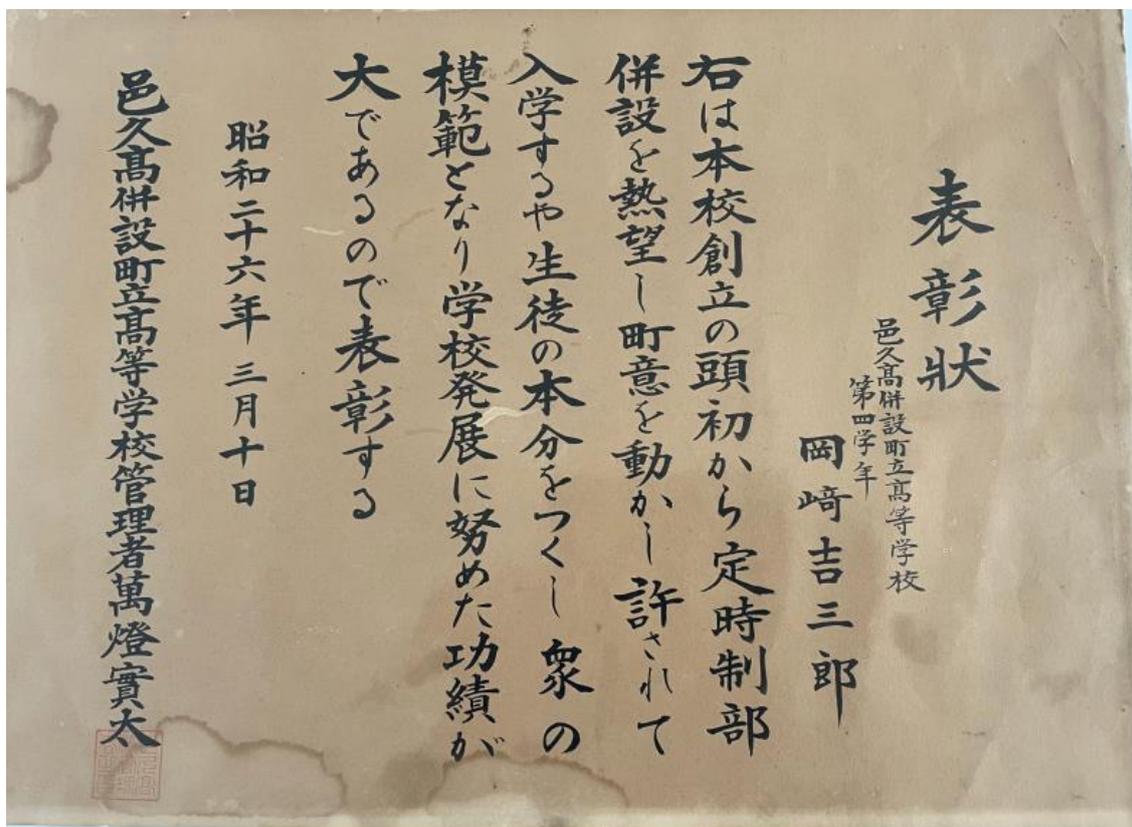


令和3年1月にご逝去された同窓会元顧問岡崎吉三郎様のご遺族から邑久高校に関する遺品をご寄贈いただきました。その中に卒業証書と同じ日付の表彰状（写真）がありました。



この表彰状に「定時制部併設を熱望し町意を動かし」の一節があります。このことを、故岡崎吉三郎様は、創立 80 周年記念誌に書き残されていますので、その一節をご紹介します。

「終戦と同時に意志の通じる少年達は（当時 14 歳～18 歳位）いち早く集まり荒潮会なるものを結成すると同時に、心ある指導者を得て夜学のうぶ声を上げ機関誌の発行も何年か行いました。場所は中浦の服部養老会を開放して頂きました。中略 それから 1 年後、新制高校が出来るや否や定時制夜間部設立運動を始めたわけです。」

「高等女学校が学制改革に抛り新制高等学校になり、1 年遅れて定時制が併置され、その 1 年後に夜間部が併設されたと思う。」

牛窓地区の若者たちの向学心とその熱意に動かされ、邑久高校併設町立高等学校としての夜学が誕生し、それから 19 年間続きました。当時の向学心に燃えた若者たちの熱意を現在に伝える貴重な資料です。

（文責 校長 萩原康正）